

氏名	田口 賢太郎	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	教育哲学、子ども学、保育学				
学位	修士（教育学）				
学歴	2004年早稲田大学教育学部教育学科、2008年東京大学大学院教育学研究科修士課程、2010年東京大学大学院教育学研究科博士課程				
経歴	2013年香川短期大学子ども学科第Ⅰ部助教、2015年山梨学院短期大学保育科専任講師、2020年埼玉県立大学社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本教育学会、教育哲学会、臨床教育人間学会、教育思想史学会、日仏教育学会、日本保育学会、保育者養成教育学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	海外研修ハンドブック 海外で学ぶということ	共著	あり	大学図書出版、127、執筆担当箇所 58-59	五十嵐淳子編著、著・甘糟節子、五十嵐迪雄、伊藤能之、井原淑雅、岡村泰敬、小野寺美奈、北川咲木、木戸直美、田口賢太郎、田中卓也、Todd Ryo Arao、中島眞吾、早川貴子、船田鈴子、堀内容子、南野奈津子。	2020.4	
2	教職概論—理想の教師像を求めて— 公教育を担う教師	共著	あり	大学図書出版、205、執筆担当箇所 18-25	編著：齋藤義雄、著・五十嵐淳子、内山仁、鎌倉博、菊池真貴子、鈴木和正、田口賢太郎、田中卓也、富澤美千子、萩原真美、肥田武、三品陽平、森久佳	2020.4	
3	特別の教科道徳15講 第1部 第1講 道徳教育の意義	共著	あり	大学図書出版、167、執筆担当箇所 10-19	梅澤秀監、小林福太郎編著、著・田口賢太郎、藤坂由美子、鈴木和正、黒田政広、中澤幸子、中塚健一、東風安生、時田詠子、田中卓也、小宮山道夫、神山直子、山本洋、出井玲子	2020.5	
4	学びを深める教育制度論 第1章 教育制度を学ぶ意味	共著	あり	大学図書出版、159、執筆担当箇所 10-21	編著：田中正浩、著・伊藤一統、梶井一暎、鳥田直哉、黒田政広、鈴木和正、田口賢太郎、田中卓也、土井貴子、時田詠子、中塚健一、古谷真。	2020.10	
5	大正新教育の実践—交響する自由へ— 河野清丸の「自動主義教育」における教師と子どもの関係論—「生活」概念をめぐる倉橋惣三の保育思想との比較を通じて	共著	あり	東信堂、460、執筆担当箇所 108-134.	橋本美保・田中智志編著、著・相田まり、遠座知恵、木下慎、香山太輝、田口賢太郎、塚原健太、永井優美、西村拓生、富士原紀絵、宮野尚、湯川嘉津美、李舜志。	2021.1	
6	国際関係の学び—グローバル社会の子どもの未来を見据えて—、第10章 ナショナルカリキュラムの国際比較	共著	あり	大学図書出版、175、執筆担当箇所 114-120	五十嵐淳子編著、著・五十嵐迪雄、伊藤能之、井原淑雅、田口賢太郎、田中卓也、Todd Ryo Arao、瀧岡大起、船田鈴子、南野奈津子。	2021.2	
7	理論と実践をつなぐ保育原理、第3章 子ども・子育て支援新制度保育の関係法令、第11章 諸外国の保育の思想と制度の歴史の変遷	共著	あり	大学図書出版、150、執筆担当箇所 26-35、106-113	編著：齋藤恵子、田中正浩、著・浅川繭子、井口眞美、伊藤能之、會森恵美、大澤朋子、相楽真樹子、田口賢太郎、富田純喜、中島千恵子、松田清美。	2021.3	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	「教育学が<幼児>と出会うとき—矢野智司、中田基昭、佐伯胖を読む—」	共著	なし		近代教育フォーラム (29)、117-123.	田口賢太郎、青柳宏幸、富田純喜、安部高太郎	2020.9
2	保育学における理論=実践のインターフェイスとしての「保育原理」「教育原理」の再構築—日本保育学会第73回大会の自主シンポジウムにおける問題提起—	共著	なし		子ども教育研究所紀要(16),73-94,執筆担当箇所78-84.	濱中啓二郎、吉田直哉、田口賢太郎、増田翼、久保田健一郎	2021.3
3	保育士キャリアアップ研修テキストにおける「マネジメント」概念の批判的検討	共著	なし		子ども・教職研究 (4)、41-50.	田口賢太郎、吉田直哉、久保田健一郎	2021.3

(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	令和の子育てチームプレー	単著	山梨県立男女共同参画推進センター 情報誌びゅあ 令和3年2-3月号 2.	○田口賢太郎	2021.2
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保育者論	○	15	保育職を志す学生に対しての導入となるべく、保育職の意義、役割、資質能力等の基礎について、オンラインでの講義を主として、グループワークや反転学習等を取り入れた授業を行った。	
2	保育原理	○	15	保育の本質、目的、意義の基礎的な理解につながるオンラインでの講義を主として、小グループでの話し合いワークや反転学習等を取り入れた授業を行った。	
3	教育学	○	15	教育諸学の成果に関して国内外の思想・哲学的なトピックを中心に取り上げ、小グループでの話し合いワークを中心に授業を行った。	
4	保育・教育課程論	○	15	教育・保育課程の意義や編成の方法、カリキュラム・マネジメント等に関して、講義を主として、グループでの話し合い学習や課題演習を踏まえた反転学習を取り入れて授業を行った。	
5	教育行政	○	15	各種教育法規とこれに基づく教育制度、国や地方公共団体の教育行政について理解を深めるため、学生の具体的な体験を取り上げ共有しつつ、講義を主として授業を行った。	
6	教育原理	○	15	教育の目的と本質、行政・制度、内容と方法、具体的な実践とその評価等、教育に関する各種トピックについて、オンラインでの講義を主として、グループワークを取り入れた授業を行った。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保育・教職実践演習		1（全15コマ中）	第11回「子どもの理解と集団作り」担当。	
2	保育実習事前事後指導ⅠA	○	15	事前事後指導、報告会と報告書の作成指導等を行った。	
3	保育実習事前事後指導ⅠB		1	訪問担当の事前指導を行った。	
4	保育実習事前事後指導Ⅱ		3	訪問担当の事前事後指導を行った。	
5	保育実習事前事後指導Ⅲ		3	訪問担当の事前事後指導を行った。	
6	教育実習（幼）Ⅰ		1（全15コマ中）	実習終了後の全体振り返りを担当。また、訪問担当の事前事後指導を行った。	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	教育実習（幼）Ⅱ		2020.6.1～6.19,9.17～10.2	担当学生を対象に訪問指導を行った。
2	保育実習ⅠA	○	2020.9.3～9.18	実習先との調整、担当学生を対象に訪問指導を行った。
3	保育実習Ⅱ		2020.8.31～9.15	担当学生を対象に訪問指導を行った。
4	保育実習Ⅲ		2020.8.31～9.15	担当学生を対象に訪問指導を行った。
5	教育実習（幼）Ⅰ		2020.9.7～9.11	担当学生を対象に訪問指導を行った。
6	ヒューマンケア体験実習		2020.9.28～10.2	グループ担当教員として学生の活動のファシリテート等を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2020.12	主指導 3名	副指導 3名
2	修士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日仏教育学会	学会事務局幹事		2020.4～
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	国際交流委員会 委員		2020.4～
2	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加		2020.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				